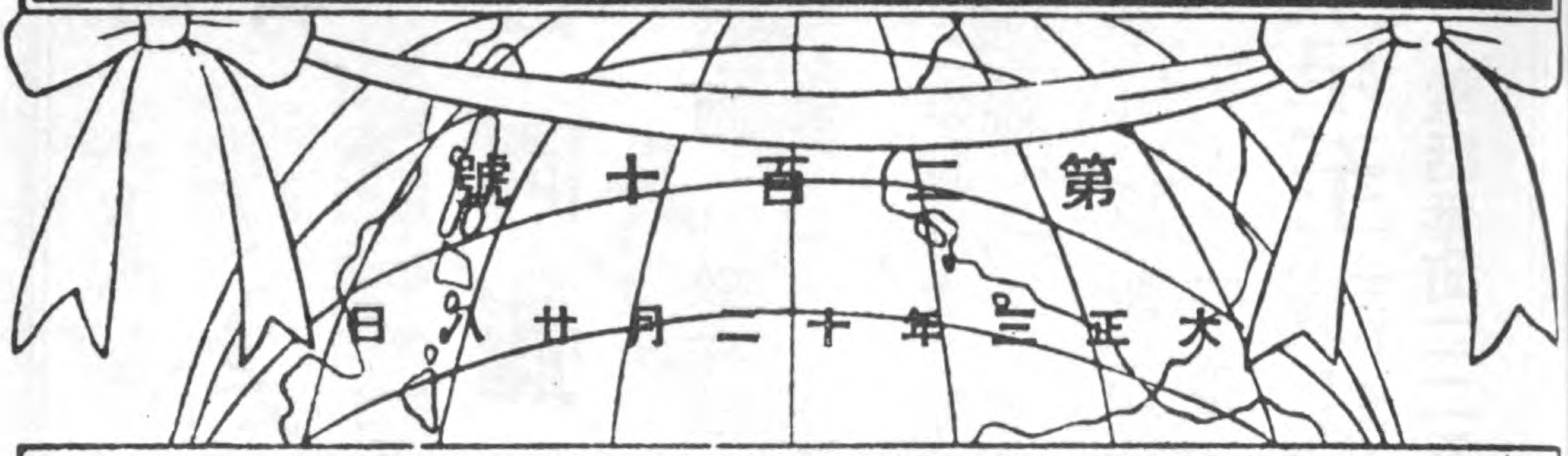
新年號

婦人新報



婦人新報第二百十號目次

新年の歌　矢島揖子
攝理深き新年　藤井かう子
豫想さるべき今後の婦人界
權利の要求　矢島揖子
迷信の打破　廣岡淺子
男女の愛　杉本鉞子
衣食住の改良　小崎千代子
樂しく安らけき道　内ケ崎作三郎
外遊一ケ年　綱島佳吉
慈愛館の異彩　記者
花の東京　みどり
藝の總菜　岩村やす子
初日の出前　ひなぎく
林檎の樹の喩　安中花子
はたらき
衆議院に於ける酒保廢止の請願、凱旋祝に酒及藝妓の使用廢止願、九州部會より各地方長官に請願せし書面、第二回九州部會年會記錄
編輯室より　エー、エム
英文

日本基督教婦人矯風會

産婦人科
小兒科
鷲山改め
女醫 吉岡彌生
△院長診療　宅診午前　往診午後
△醫員診察　午後
産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず
東京市麹町區飯田町
四丁目三十一番地
東京至誠病院
電話番町二二五七番

社告

◎婦人新報定價（郵税共）

一部（前金）金六錢
六部（前金）金三十五錢
十二部（前金）金七十錢
（郵券代用一割増）

◎廣告料

一行（五號活字）金十錢

大正三年十二月廿六日印刷
大正三年十二月廿八日發行
發行兼印刷人　矢島楫
編輯人　高原孝
發行所　東京赤坂區溜池町三番地 婦人矯風會事務所　婦人新報社
編輯及事務所　赤坂區溜池町三番地 婦人矯風會事務所　電話新橋一〇三六

No. 210　　JANUARY, 1915

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

Poems on the New Year......................Madam Yajima.
Providence during the coming Year.....Mrs. Koko Fujii.
The Demand for Rights......................Madam Yajima.
Superstition.................................Mrs. Asako Hirooka.
The Marriage Question..................Mrs. Etsu Sugimoto.
Reform in Clothing, Food and Housing..Mrs. Chiyo Kozaki.
The Happy and Peaceful Path.........Mr. S. Uchigasaki.
A Year Spent Abroad.....................Rev. K. Tsunajima.
Another handsome gift from Madam Yajima to the Florence Crittenden Home.(Jiaikwan.) A Contributor.
Flower Day in Tokyo...Midori.
Different ways of cooking Salmon...Miss Yasuko Iwamura.
The Dawn of the Year...Daisy.
Parable of an Apple..................Miss Hanako Annaka.
Activities;—
Madam Yajima's Petition to the Diet.
Madam Yajima's Plea to the Mayor.
Minutes of the Kyushu Conference held in November.
A Message from the Editorial Room.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 3, Tameikemachi, Akasaka, Tokyo.

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

攝理深き新年

藤井かう子

▲戰亂尚止まず

例年とちがひ、まだ私共は諒闇の民でございます。歐洲諸國の戰爭も何時終りを告げますかと思ひますれば、只我國の戰士だけ凱旋を致しても何となく戰場を偲びて同情に堪へないのでございます。愛する夫の留守を健氣に守る婦人もございませう、夫に代りて公の務、さては車掌までも勤らるゝ婦人のある事、看護婦となりて傷士をいたはる婦人や、敵に國を奪はれて悲慘の境遇に泣く方もありと承ります。近く我國に於きましても戰死せられし夫の後を淋しく弔ふ婦人、愛する子等に別れし親もあるのでございます。斯る折に新らしき年を迎へまするのは何か深き意味あるかの様に思はれます。どうか此の年を尤も有益なる、教訓に充ちた年として迎へたいものでございます。

唯一の働き場所

世の中はさま〴〵に移り行きまして婦人が有益なる事業に活動なさる事もだん〳〵目覺ましくなり、實に喜ばしき現象を見る樣になりましたものゝ、又一方には世の中を離れて、善きにも惡きにも遠ざかり、只家庭といふ狹き範圍に葬られて、流れなき湖水のやうに絶えず同じ年をくりかへして靜止の狀態に居らるゝ方もあるのでございます。かゝる方が之を以て眞に家庭を愛するの意に解してをられますのは、甚だ遺憾な次第であります。家庭が大切なればこそ、世の中を深む

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るのであります。家庭を健全にするために婦人は起て自らを修養する必要があります。又努力して人の爲にも盡さねばならぬと存じます。子女の敎育の點に於ても世の中を知らずして完全に近き敎育を與へらるゝ筈はございません。家庭と社會と相須つて力ある國民を作り得るのでございませう。この意味に於て婦人矯風會の働らきは眞に國を益し、家庭を潔め、國民を健全となす唯一の努力の場所と信ずるのでございます。

△禁酒禁煙課

この會の働の一として禁酒禁煙課があります。我が會が明治十九年以來叫んで參りました。この課が漸く昨年になりまして大分酒の害ある事を一般に認めらるゝ様に傾いて參りました。酒が之を呑む人を害するばかりでなく、子孫に不健全な體質を遺傳する事が分りますならば、是非とも之は止めねばなりません。當時の醫學上の說では單に藥劑として幾分を使ふものにて、決して飲料として使用すべきものでないとの事であります。之を知つて妻が夫に酒の害を說く丈けの智識、勇氣を缺いて居つては遺憾な事でございます。喫煙も其通りに室内の空氣を惡くし、人に迷惑を掛け、經濟の點より申しましても眞の空費でございます。之もやはり子孫に神經衰弱症及脊髓の疾患を遺傳すると聞きましては容易ならぬ事でございます。

△交際課

次に交際課として尤も實行致したいのは、從來の交際法には矯むべき點が澤山ある事は皆様御存知の事と思ひます。婦人が一寸親戚を訪問致す場合にも、前日から仕度をして土產物の心配から何やかと氣を遣はねばなりません。之等はもつと簡單にする事を考へて、何でも心さへ籠つた品ならばそれで滿足する樣にいたしたいものです。年末年始其他中元の贈答等も互に相談して、出來る事なら形式を省く樣にし、恩を受けた方、どうしても上ねばならぬ方にはクリスマスとか御誕生の日を記念して贈る事に致しますなら、餘程交際

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

上の便宜を得ると思ひます。

△衛　生　課

衛生課に就而は殊に婦人が注意を拂はねばならぬと存じます。この注意の如何によつては子女を健康にすると否との相違があります。子供が可愛と申してむやみに間食をさせたり、品に構はず、分量に制限なく與へて腸胃を弱くして置きますために、一寸した事にもすぐ堪へられない。寒からうと思ふて身體を顧みずに着せるため、皮膚の抵抗力を弱めて却て貧弱な身體に致します。少し注意して居れば病氣の起らない内に豫防する事も出來るのであります。いざ病氣となつてからもすぐに醫者ばかりを便りにするのは母として眞のやり方ではありません。衛生の事に心掛けて黴菌の事など調べますと一寸した者でも蓋もせずに持ち運びする事の危險である事が了解されます。主婦一人の注意で家内中の健康を維持して行く事は、實に大した役目であるのでございます。

△風　俗　課

一般婦人界の流行と申せば其源に溯つて見ますと、藝妓から起つて居る事が多く、之れを甲より乙と傳へて粧ひに熱中する有樣では如何にも殘念な事でございます。私共は彼等の眞似をする處ではない。進んで彼等を正業に就かしめんが爲に働かねばなりません彼等のために一家の風波を起す者數少くないのであります。もつと大切な事は我が同胞姉妹が外國の到る處に醜業を營んでをる事であります。如何に日本が戰爭に勝ち、一等國と列を揃へても、この點及び公娼制度が全廢せられませんならば、國の品位を保つ事は出來ないのであります。只一人〳〵に之を口にするばかりでは仕方がありません。正義のためにはどこ迄も叫んで輿論を喚起し、當局者の正當なる判斷を期待するのであります。

之等の課の外に敎育、傳道、花の課、工女、動物優待、安息日、法律等の諸課がありますが、之等を悉く實行致しますならば、必ずこの年をして空しく送る事はないと存じます。會員の諸姉よ、ます〳〵奮勵自重せられて、この會の目的を達せん事に心身を注がれ、主義の戰ひに勝利を得られまする樣希望にたへないのでございます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人と權利の要求

――豫想さるべき今後の婦人界――

矢島揖子

私は英國婦人の選擧權運動を少しも無理な事とは思つて居りません。多くの人は遣り方が過劇だとか何とか申しますが、あゝする迄にはいろ〳〵の手段も盡したことでせうし、且つ人々が意見を確守することが強い英國に於て、婦人の爲めにしつかりと閉ざされた門戸を開いて、必要な權利を得るには、止むを得ない運動だらうと思はれます。日本の婦人も今後次第に覺醒し、發展して來ると共に、權利の無い不便さを著しく感ずるでありませうから、遠からずかやうな運動の起るのは豫想される事でございます。只日本婦人が果してどんな困難に遇つても、これを獲得せずば止まぬといふ丈けの勇氣と根氣とがあるかは問題であります。

先年私が女子學院に居りました時、一人の自給生を養ひまして、朝晩部屋の掃除などして貰ひました。その女が卒業後三菱にタイプライターを打ちに參りました。まだ婦人がタイプライターをするなどは誠に珍らしい十年前の事でした。初め十五圓位で雇はれ、忽ち昇給して、三十圓程の月給を取るやうになりました。然るに會社の事とて、盆暮れの二期には一般に賞與が出るのに、この婦人には女だからと云ふ名義の下に何も與れなかつたのでした。一二回は默つて過しましたが、かやうな不當の事は、自分一人ではない、女の職業の爲めに云ふ必要があると思つて、勇氣を出して當局者に申し出たので、それからは男子と同じく賞與が出るやうになつたと申すことです。この婦人などは、取り立てゝどうといふ偉らい處もない人でしたが、心

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の極く平らの人でしたから、正しい道が見えたと見えます。社會が感情の上から、習慣の上から、婦人が正當に持つべき權利を與へない場合は、要求するのが順序で、今後婦人の間に此の種の運動の起るべきことは豫測さるゝ事で、またそれは社會の進歩した證據として喜ぶべきことであると思はれます。

迷信の打破

廣岡淺子

我が國も既に明治維新から半世紀を經ました。今日靜かに過去を回顧しまするると、種々の方面に於てこの短日月の間に、よくもかやうな進歩發達致したものだと思はれます。然し一と度眼を轉じて世界の列強の有樣を見ますと、我が開明の度の未だ遙かに幼稚である事を嘆息せざるを得ませぬ。就中我が國婦人の社會は、昨今漸く覺醒の期に向ひましたので、之れより大に苦しみつゝ學んで參らねばならぬ事のみであります。今日社會に喋々されて居る婦人問題の如きも、却つて婦人自身は對岸の火事の如く、極めて冷淡でありまして、獨り男子のみが、種々の論究を行ひ、新聞雜誌等に其の所説を發表して居るのであります。かくの如き事を見聞致します毎に、私は常に何故多くの女性はこの大切の時に眠つて居るのであるか、何故自身の自由の天地を見出す爲めに奮闘致さぬのであらうかと切齒に堪へぬ次第であります。否婦人が單に覺醒せず、奮闘致さぬ計りか、屡ゝ自ら自己の權利を害するやうな言論を吐き、間違つた良妻賢母主義を以て婦人の自由に延びんとする者を挫き、或は貞婦淑女の意義を誤つて、何事にも男子の云ふが儘に服從して、彼れの墮落腐敗を益ゝ甚だしからしめんとして居ります。然しながら今日の婦人自身もこの儘では如何にこれを辯護しやうと欲しても、智識に於ても、德の方面に於ても、身體の健康力に於ても、凡て男子に及ばざる事遠しであります。心ある人々は婦人のこの缺陷を憂ひて、一日も早く圓滿なる人間に發達せしめたいと希ひつゝあるの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

であります。
婦人を一個の人間として完全に發達せしめんとならば、單に智育、技藝等枝葉に亘つた教育訓練の能くし能ふ所ではありませぬ。もつと根本的の教養を計つて、其の閉ざゝれた智識精神の扉を開かなければなりませぬ。之れにはどうしても人間の靈妙な精神を支配する宗教に須たねばならぬと思ひます。然るに我が國舊來の宗教觀念は實に迷信的野蠻的でありまして、或は日輪を拜み、水を恐れ、或は狐、狸、蛇等を祠るといふ有様で、相當の智識ある者も之れを崇拜して恥ぢぬのであります。且つ其の信者の大部分を占めて居るものは婦人であります。これ等婦人は若し家庭に病者があつたり、變事があつたりする場合には、加持祈禱により、或は賣卜者等の助けに縋るといふ有様であります。かくの如き蒙昧なる女性を研究して居る狡猾なる人々は、如何はしい方法を以て病魔を癒すると稱して、多大の金圓を貪つて居り、山師的僞善者の横行を甚だしからしめて居るのであります。

今日西洋婦人が日本婦人に比して遙かに進歩發達して居りますのは、教育境遇等の相違もありませうが、就中宗教思想の相違は與つて力あるものと思はれます彼國の婦人等は永遠不朽の眞理の眞理たる神と、その最高顯現なるキリストとを信ずるによつて偉大なる愛と正義とに哺るゝ事は大なるものであります。故に完全な一個の人間としても立派であり、夫婦、親子の愛情も聖別されたる清く深いものであります。

何れの國に於ても婦人は保守的なものとせられて居ります。我が國の現在を見ても婦人により多くの迷信があるのを見れば、今後の婦人等は一層自奮して、自らその頭上にある鐵の罠を取り去り、眞理のある處に速やかに赴く事が出來たならば、眞に一家一國の幸福であり、人類の進歩であると信ずるのであります。

男女の愛

杉本鉞子

私の娘が尋常小學と高等女學校へ參つてをりますか

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ら、學校を參觀して殊に興味を持つて居ります。その折氣の付きますのは姿勢であります。胸を張つて腰を後ろに引く事は衞生上から直立の姿勢であつて、學校に居る間はそれに從つてをつても、家に歸るともうそれを實行して居りません。斯樣に學校敎育と、家庭敎育との一致を缺く、卽ち理想と實際とは違つてをる事をいつも感じてをります。之と同じく家庭と社會とも一致して居らぬ事は明かでこの困つた事がすべての事に波及して參るのでございます。

社會でいろ／＼の問題がある内にこの結婚問題といふ事は大變大事な事でございますが、之を考へてゐらるゝある方はあつても、其の考へを發表する方が少ないと存じます。之は必要を認めて居らないのではなく、云ふても實行するにはなほ遙かであるとか、出來ない相談であるからと思ふて控へて、おしまいになるのでせうと存じます。

今の日本の女子敎育が實際に伴ふ事がすくないのは申す迄もございません。女學校を卒へて更に再た家庭といふ事に研究を凝らさねばならず、それ等も有耶無耶に葬つて其上に家庭の基礎を作る大切なる結婚に就而は何の思慮も持つて居らない樣な風であります。確に結婚の眞の意味を解釋して居ないのでありませう。男子の進歩の仕方が善と思ひ、得策であると思ふ事に進行して行かれる樣に準備が出來てをりますが、日本の女子になりますと善と思ひ、得策と考へる事が行はれない。之を辛抱して堪へて居るのが、或る點に於て日本固有の女子の淑德と信じられてをる樣であります。「梅の花かすみに色をかくすとも、香を尋ねてぞ人はとふらむ」と云ふ古歌があります。何でも日本の女子は自ら進んで表はすのでなく、人が尋ねて來る迄と云ふ樣な消極な事を重んじてをつた點もございませう兎に角日本婦人のする事は因循である事は疑ひありません。日本人が一般に愛と云ふ解釋を間違へてをります。私は皆樣に哥林多前書の十三章をよく御覽になつて頂きたいと思ふのです。愛と云ふ事を習慣として親子の愛、兄弟の親しみといふ事は大變結構な事である

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が、兩性間の愛と夫婦の愛に至つては美しくないものの如く解釋されて居るやうです。もしも物を見ますときに美しい純白な白い薔薇も、色のついた眼鏡を透す時はその色を帶びますやうに、混り氣ない清い愛も色眼鏡を通しますならばほんとの心を解釋する事は出來ないのであります。親が子を愛する愛が美しければ、兩性間の愛も誠ある上は同じ愛でなければならないと思ひます。

私が米國に十年餘り居りまして學び得た一つの德はこの男女兩性間の愛を自分が誤解して居つた事を悟た事であります。或る時私の敬して居ります一人の日本の友は、私に尋ねて、「あなたは長年外國に居られて外國交際場裡の間を御研究になつたと思ひますが、米國の婦人が馬を御し、自働車をも動かす事の出來るのに、自分の靴の紐を男子に結んで貰ふのを見て、餘りそのやり方が感心しない、男子としては紳士らしくないと思ふがいかゞ」と申しました私がこの事實が眞に男女間の誠の愛を現はしてをるか否やは別りませんが、私はこう考へました、もしも私の小さい兒の靴の紐がとけましたなら親は之を其儘に見てをらないでせう。又女子のコルセットのために曲む事がつらいだらうと推察するならば男子も女子の靴の紐を結んでやる事を辭さないでせう、つまり清い愛を以て解釋する事が必要であると存じます。

女子に自由の思想を與へ、まづ高等女學校の教育を受けてをる位の人はイブセンの婦

神戸婦人矯風會

人に對する觀念を持つてをらない人はなからうと思ひますのに、結婚法は全く矛盾して、殆んど其價値を研究してをらない、自己の考を無視して居らぬまでも、一二度の顏を見合はす位を以て百年の苦樂を共にする夫婦の取極めを致さないなら賤しき結婚の如くに考へ、てをるのが一般の狀態であります。

昔は粉糠三合あれば男子は養子に行かないとか、人の姓を冒すのは意氣地ない樣に申してをりましたのにこの頃聞く所によりますと會社其他で出世する人は結婚の手づるに縋つて世に出ると云ふ樣に男子も我儘をなし、精神も昔よりは鈍つて參りました。

西洋の人は若い兩方が結婚する時に、之迄よりはもつと低い度の生活に入る事を覺悟して結婚します。靑年が受る月給で甘んじてをりますが、日本では結婚すれば華美を理想として結婚する、之が愛の根本を間違てをるからであります。手鍋提げてもの理を究めないで結婚するのは、忽ち不緣の基となるのであります。私の考へは兎に角結婚は昔から行つた樣に、軍人が戰場に出る覺悟でなければならない、君のために身を捧ぐると云ふ覺悟を持てもらひたい、それには眞の愛を解釋しなければその覺悟が出る筈はありません。思想はイプセンでもよいけれども畢竟る所日本女子はやはり結婚に島臺を用ゐた樣に、行く先の浪は荒く、何處の岸に着くか分らないが、兩人でどんな浪の中でも共に手をとつて行くといふ覺悟がなければならないと存じます。

衣食住の改良

小崎千代子

この度の戰爭によりまして隨分悲慘な出來事も耳に致しますが、一方には之によりて何かの敎訓を受けねばならぬと存じます、戰爭の時ばかり狼狽てゝ急に儉約をするとか、國を思ふといふ風に考へるよりも、常に心掛けて質素な生活をし、又國の爲に盡すといふ事が大切だらうと存じます。質素と申して唯物をつかは

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ぬといふ意味ではなく、臺所の事に於てもなんでも西洋食品店から取りよせる事計り考へないで廢物利用の方法により、果物の皮からでもソースを作る工夫をし、馬鈴薯の料理でも幾通りにもして上手に客をもてなす事を實行致せば、却て外國から輸入した品を使ひませんでも、かなり文明的な料理が食べられるのであります。從來の習慣によりますと御客があれば何んでも數多くの品を揃へて出す、衞生の事も、時間の事も餘り意にとめないで、彼れも是れもと取出すのが御馳走の樣に考へられたやうです。けれどもこの忙しい世の中になりましては之等も可成改良して懇意な方には家の人の食事と同じ者を上るとすれば、時間も消えず御話も澤山出來て、又客の方も非常に便利だと思ひます。之は雙方の爲めであつて、交際の上からも簡單でよいのであります。勿論ちやんとした御客樣を迎へるとすれば別の事であります。

　また一般の狀態から見ますと立派な衣類を着けて居る方が、痩せて青い顏をして風が吹けば飛びさうな樣子の婦人が多い樣で、困つた者だと存じます。今から後はどうしても身體が大事です、着物は儉約をしても衞生に叶つた食事を攝る樣にだん／＼と致さなければ戰爭にも堪へ得る人を造る事は出來ません。一寸した事にも風を引き、そら熱が出た、醫師を賴む、なんと煩しい事でございます。之等の臨時の用事のため其日に計畫した仕事も出來ない、婦人會にも缺席すると云ふ傾になるのであります。どうか今一層今後の生活問題に立入つて研究して頂きたいと考へてをります。

　衣服の事についても、もつと研究して不用な物は拵へない樣に致したいと存じます。昔から簞笥に幾棹と數へたてゝ其當時に必要のないものまでを買へ整へ、土用干などに多くの手數をかけて出し入れをする事が一つの仕事の樣に考へ、之を樂しみとした習慣を今も尙ほ改めないで、外出の折には、どれを着やうかとつまらぬ處に頭腦を使ふ方のないでもございません。これからは何と申しても外面の事では進歩する價値はないので、婦人の實力はやはり努力して各自が進むのに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

よつて得らるゝのであります。
フランスの婦人が日本へ來て見まして「婦人の服裝が尤も劣等である、或る人は優さしいと見るかもしらぬが、あれでは身體を保護する爲でなく、唯着て居る丈である」と申したさうであります。之等につきましても何とか研究して便利な、衞生的な、そうして人から輕蔑を受けない樣な仕立方に致したいものであります。どうか婦人各自が衣服以外に立つべき場所を見當て、それに向つて專心進む樣に致したい者であります。
今後の生活はます／＼複雜に傾き易いのであります男子が外に向つて繁忙なる丈け、又婦人も影響を受るのであります。從つて出來得る丈け世の中の事にも意を用ゐねばなりません。只今の樣な有樣では一家の中すらこの通りで、どうして外の事はと申して家庭にばかり引込んで居りますれば、大變な間違だと思ひます。前申上げた樣に生活の筋道をたてゝ出來得る丈け簡單にして興味ある身體に叶つた、食事の方法を試み、衣服は第二の者として餘分の者は拵へない、入用の時に造るといふ樣に致し、禮式其他のものも簡略なる式服と定める樣に心掛け、餘裕あらば、家族互に打くつろぎ、讀書もしたり、交際もして、每日少しの時間たりとも進步し得る段階を作りますれば繁雜なる生活の中に、愉快なる樂しみある、望みある生涯を送る事が出來やうかと存じます。

△議會遂に解散　十二月廿五日議會は解散となりました。本會より每會提出致しまする婦人の權利に關する法律の改正案及び、在外國醜業婦取締に關する請願書はすでに本議會開會前、矢島會長より江原、島田兩君を通じて提出を願ふ事になつてありました記名調印者の數千百二十名、本年は法律課々長及び副課長の熱心なる盡力と會員諸姉の努力によりて斯くも多くの賛成者ありたる事は感謝の外ございませんが之が議題に上らずして解散を見ますのは殘念の事でございます、されど正義はいつか勝利を得ます事を信じて疑ひません。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

樂しく安らけき道

内ケ崎作三郎

△統一融合されん

今回の大戰爭が如何に宗教に影響すべきか。私は今回の大戰亂は寧ろ宗教革命の導火線たるべきものと思ふ。先づ今日までは異教徒として排してゐた他國民と相提携し、而かも同じ宗教を信ずる國民と戰ふと云ふ場合が生じて來たので、異教徒の人格を認め、之れに敬愛の念を惜しまぬ樣になるのは必然の事である。されば今後は基督、佛教等も世界的に活動し、國家的城壁は取り去られる事になるであらう。其結果は文藝も一民族一國民を背景とせず、世界全人類を舞臺とした大藝術が生れるであらうと思はれる。

△結局は大生命

此場合に於て日本の宗教家のみ、獨り此大潮流より離れてゐる事は不可能であり、危險な事であるから、我々日本人も亦た世界的宗教の大潮流の一支流として進んで行かねばならないと思ふ。其處で今日は早や徒らに他教を罵る事などは誠に無益の事であるから、各各自ら信ずる神の道を傳へる事に熱心すればよいのである。基教と云ひ佛教と云ひ神教と云ふも皆な等しく唯一なる大生命を信ずるのであつて、其通るべき道は異なるも、到達する所は同じなのである。何も他宗教を打倒すにあらずんば自教を弘める事が出來ぬ事はない。それは恰も他人の肥滿せる身體が自分の痩せた身體に關係がないのと同じ事である。

△神祕なる我生

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

惟へば我々がかく對坐し相語るを得るのが不可思議な事である。私は寢ても醒めても「生」其の物が不可解でならない。實に神秘の極は我生命である。此生命は唯一なる大生命の流れであつて、我々が各々異なる如くして而かも共通性を有つてゐるのは、全く我々が大生命に結びつけられてゐるからである。他人の苦痛は吾が苦痛である。他人の喜びは吾が喜びである。我等は決して他人の榮達を羨む事なく之れを祝福すべきである。何となれば他人の榮達出世は亦我が榮達出世であるから。

△物質文明の禍

欧洲文明人が物質文明にのみ沒頭して、精神に於て基督の理想に到達し得なかつた爲めに、今回の戰亂は生じたので、之れを以て基督教を罵る事は出來ない。我等は何處までも眞理としての理想としての基督教を信じなければならない。基督教を信ずれども戰爭が起きたと云ふならば、佛教あり神教あるも諸々の世の罪過が消滅せないのも同じ攻擊を受けなければならない。要するに佛教と云ひ神教と云ひ基教と云ひ其理想とする所は同じく高く清いのであるが、人類が却々之れに到達し得ないのである。

△異教間の愚爭鬪

そこで今日は各宗教家とも大なる自覺を以て神の道を傳へなければならないのであるが、それには全く異教間の爭鬪を廢めて、共に倶に相提携して大生命目がけて突進しなければならないと思ふ。又慥かに戰後はかくなり行くであらうと思はれる。戰後は總べてが世界的統一的となるのであるから、獨り宗教のみ徒らに爭鬪を之れ事としてゐたならば時代後れとなり、生命なきものとなるであらう。我等は此意味に於て基督教も佛教も共に共に發達して行くべきものと思ふ。今の場合基教にのみ日本國中を賴まれても困るであらうし、佛教のみにても滿足出來ぬであらう。世の中は廣いのである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△佛教の爲に惜む

唯惜しむらくは、佛教は餘りに儀式的中世紀的であるが爲め、活動的現代には適切な宗教でない。佛教の本義はしかく非活動的のものでない事は知つてゐるが中世紀より今日まで少しも改良を行はなかつた爲め、古き陋習を破る事が出來ないでゐるのである。若し今日佛教界に大人物あり大いに改革を行つたならば、佛教其物の生命をのばすのみでなく、信徒の幸福や多大であらう。而かも未だかくの如き人の出でないのは、誠に佛教の爲めに惜しむべき事であらう。

△黴の生えた基教

然し乍ら此の弊害は獨り佛教のみではない。我基督教に於ても隨分陋習の認められるものがある。佛教の非活動性を笑ふもの却つて儀式的因襲的であり、或はなり行きつゝあるのは注意すべきである。隨分我基教界にも黴の生えた樣なものも見える樣であるが、之れは大いに改革を要する事と思ふ。新らしきものも常に修養を努めなければ亦古きものたるのである。矯風會員諸君にも此の覺悟を以て新らしき年を迎へられん事を望むのである。

△啣まれた心

人が若し大生命を思ふ時、其處に神があり、眞面目なる敬虔なる信仰が生れるのである。而して自己が大生命の支流である事に思ひ至らば、其根を同じふする他人も亦責むべき事を感じ、徒らに他人と爭ふと云ふ樣な事は出來なくなる。と同時に廣い〳〵心には、言ひ知れぬ歡喜を以て滿たされ、大生命が自己に托されたる使命を十分に爲さんとする樣になる。若し世の人この大生命を感じ、啣まれたる心を以て世に行かんとならば其處は誠に樂しき安らけき道である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

外遊一ヶ年

綱島佳吉

△使命の下に渡米

私は大正二年末故國を去り、渡米の後大正三年十二月歸朝する迄、一ヶ年の間重に米國に在つて彼國の實況を見たのであるが、其間加州を始め諸所に於て演説を爲し、排日論を駁して日米の親交を論じ、特に基督教徒の奮起を説いた處諸所に歡迎され幾分か親日米運動に貢献があつた樣に思ふ。彼地のクリスチャンでさへ日本を誤解してゐるものも多くあつたが、この運動を始むるに當つて先づ教督の有力者等は多數日本の爲めになる言説を爲すに至つたのは喜ばしかつた。

△國務卿と快談

七月二十日國務卿ブライアン氏に面會した時、私はクリスチャンとして思ふ存分の事を語つた。其時は珍田大使も同行して下すつたが、私がブ氏に云つた事は「加州に於て日本人から借地權を奪ふと云ふ事につき、甚だ面白くない感情が日米間にあるのだが、之れは是非とも兩國の基督教徒が正義人道の見地より解決しなければならぬと思ふ。勿論加州問題は勞働上人種上或ひは御國の政治機關の關係上六ヶ敷い事であるのは知つてゐるが、閣下に於てもクリスチャンとして充方の御盡力を望む。之れ單なる政治家としての閣下に申すのではなく、クリスチャン、ステートマンとしての閣下に申上げるのである」と云ふ意味を語つた。

△思ふ樣に行かぬ

ブライアン氏は大いに悦び「自分も努めて行つてゐるのだが、米國の社會や國家組織が復雜で却々思ふ樣に行かぬのは殘念である」と述べられ、又氏の秘書官で善良なるクリスチャンであつた某氏は「米國では中央政府から州政府へ何等云ふ事が出來ぬし、種々の人種が混入つてゐるので困る」と云つてゐた。ブライアン氏は特に新著書二卷を私に贈られた。翌二十一日はブ氏の紹介によりウヰルソン大統領に面會するの光榮を得た。

△ウ氏の堅い握手

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私は二十一日午前十時ウヰルソン大統領と對座するや、一般の訪問者の如く、徒らに外交的辭禮でお茶を濁す樣な事をせず、挨拶が濟むと直に前日ブ氏に述べた樣な事を提言して、何等政治的意味でなくクリスチャンとして遠慮なく語つた處、大統領も大いに喜んで堅い〳〵握手を交された。尤も之れに就いては昨年四月大隈伯邸で基教徒の會合に於て、ウ氏に電報を發し、極力日米の親交を計らんと云つた事や、加州の南部で組合教會の演説の時滿場一致を以て大統領に親日の決議文を送つた事など話題に上つた。

△不通過の豫測

加州に於ては排日黨の首領なる進歩黨のジョンソン氏が今回も亦再選したので、借地權問題は來るべき議會で大いに起らんと云ふ者があるが、彼れも全く政爭の爲め止むを得ずしてかゝる擧に出てゐるのであつて個人としては眞によい人物である。思ふに此際は日本人に不利な議案など通過すまいと思はれる。日本が桑港大博覽會に參加したに對しても排日など出來ぬぞと云つてゐる有力者もゐるのである。日本では稍もすれば幾年かの後開戰を豫想する者があるが、恐らく杞憂に終るであらう。

△對米人策

一體日本人は外國人とさへ云へば一歩置いて相對する樣な所があるが、之れは誠に詰らぬ事である。米國に對してでも、何時も押へ付けられてゐるのは愚の極である。何處までも權利は主張しなければ、彼の國民は益々强壓的になる傾きがある。その代り米人は惡いと知れば改めるに吝ならぬ國民であるから、此方の思ふ處は十二分に述べて、謙讓して半ばはお察しを願ふといふ遣り方は外交上にも全然止めなくては不可である。加州の移民同胞も吾が政府當局に遠慮なくやつて貰ひたいと言つてゐる。米人は天眞で與し易い話の爲易い國民である。

△一種の流行病視

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

彼地では一流の牧師と會談し一流の教會でも講演したが政治家實業家教育家其他あらゆる種類の一流の人人にも遇つて見た。其の中にはよく判つてゐる人々もあり「加州問題については誠に日本人に對し申譯がない」と云つてゐるものもあつた。排日熱は加州の一部を限つて烈しいだけで、一般には何んでもないのである。彼等に云はせれば排日も一種の流行病の如きもので、曾つては他の國が排斥されてゐたのに、此頃日本人がよく働き地盤を占めて來たのでお鉢が廻つたのだと云つてゐる。

△マシユウ博士の來朝

此の日米問題につき今回米國の基教同盟會は、各派の有力者中から十五名の委員を選出して、日米人兩側の事實を委しく調査する事となり、不日シカゴ大學の神學部長セール、マツシユウ博士が來朝の筈になつた私は博士に對し口だけで親交を云ふのは既に日本人の聞き飽きてゐる所であるからアクションに表して貰ひたいと云つて次の三ケ條の實行を願つて置いた。その第一は十五名の委員は早く加州日米人の事實を調べて之れを小冊子に印刷して數百萬部を米國中に散布する事。第二には或る日曜を期して平和日とでも稱へて、特に日米親交の爲の說教をする事。第三は加州の主要都市に大會を催して、日米親交の輿論を喚起させる事。

△親心を持つた人

又加州問題等の爲めには日本人の中に勝れた人物がゐて、米人の上流社會とも交際し日本人には親心を以て萬事の世話をする人が二三人あつたなら最もよいではないかと思ふ。而して米人を恐れずにどしどし日本人の權利を主張して行く位の人は必要であると思ふ米人は内々日本人を恐れてゐるのである。見やうに依つては排日は日本人が爲すある爲めであるから祝すべき事とも云へるのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

慈愛館の異彩

記者

此の程女子學院同窓會は、恩師矢島楫子刀自の永年の功勞に報いんとて、小さき懷より赤心籠る醵金をなし、金二千圓を調達して、刀自に捧げました。刀自はこの意味深き金を、何がな子弟の好意に添ひ、且つ婦人界の爲めに永久活きて働らく費用に投せんものと熟慮の末、本會の設立に成る府下大久保の慈愛館内に、一つの住宅を建つる事となりました。

勿論刀自は事務多忙故、全然事務所を引上げて此處に住まはれるやうになるかどうかは解りませぬ。然し從來慈愛館の事業に要する費用は、外國にのみ仰いで居る處より、自然日本人が充分の權利を持つことが出來ないのは、此處に收容する婦人等の敎育上にも面白からぬことである故、かやうにして置けば、行く〳〵はこの建築物が館の目的の爲めにも使はれやうし、會は此處を訪づるゝ人が建物の由來を知つて此の事業に興味を起すことにならうといふやうな、深遠な考へからであらうと思はれます。

序に慈愛館の近況を申し上げませう。館長ヘンロード孃の熱心な指導の下に、池野女史が專ら訓陶の任に當られ、現在二十五名の婦人を收容して敎化に務めて居りますが、茲に收容さるゝ婦人は、何れも一旦泥水社會に陷つた者のみの事とて、其の經路は千差萬別で年齢は十一歳から五十一歳に亙り、就中十四五歳から二十三四歳のものが、最も多數を占めて居ります。精神修養に最も重きを置き、其の他裁縫、料理、西洋洗濯等の技能を授け、且つ邸內の畑には蔬菜類を培養し養鷄などさせて居ります。そして萱葺の家には何れも墮落の淵に這入り込んだ者のみを收容し、新館の方へは良家の娘の誘惑に遇つて身を誤り、姙娠せる者、又は子連れの者を入れてあります。先頃も東北地方の富豪の令孃で、父に早く別れ、女學校二年の折、兄なる人が帝大に在學する事となり、共に上京して某女學校

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に通學中、兄の友人に戀したるも、其の人には既に許嫁のあつた爲め、失戀して、自暴自棄となり、學校へ行くとて兄の家を日々出でゝは活動寫眞や芝居に行き半年以上も兄を欺いたことが發覺して、遂に茲に收容されたさうですが、今は全く悔悟して善い女となり、故郷に歸つたさうです。斯ういふ類の女は比較的善化する事が容易でありますが、一旦淪落して賤業婦となつた者は、矯正が非常に困難であるとは、さもあるべき事であります。願はくは神の恩寵の憐れなる人々の上に、特に豐かに加はらんことを。

花の東京

みどり

滿都の人士は、花の日會を如何に迎へることかと編輯締切の師走十八日會食しまして事務所を出ました。

凱旋日和、花の日會日和と誰れいふとなく口にする温さ、風もなく塵さもなく只喜びに滿ちたる顔の男女、同じ樣に胸に紅深い菊花かざして。

常には花など顧みた事もないやうな殺風景な仕事衣着けた者、幼ない子供、洋服の紳士、白く塗つた娘子まで、只一つ思に此花をかざした處が私にはうれしく思はれました。

けたゝましい笛の音にふりかへると、自働車の上より聲がけられましたのは小崎山東の兩女史でした。今日の一方の指揮官と見えまして花で飾つた車上にニコヤカに行きすぎられたのです。其早さ答ふる間もありませんでした。

虎の門から日比谷へ出で銀座へと私等は花賣る處へ！！とまゐりましたが、すでに遲かつたので御座います、賣切といふので何か選にもれた樣なさびしい心地がいたしました。

一人で二つも三つもかざして居る人を見れば、一つもない自分が一層さびしく見えました。然し紅き心に變りはないと獨り語しながら今日の此企の成功を感謝しました。

斯うした催しが貴婦人社會から出た事を私はよろこびます、とかく貴婦人社會から出るものは下々のものまでに及ぼしがたいものであるにかゝはらず、此回の催が斯くまでに成功した事は、たしかに一般人士の社會的進歩であると思ひました。同時に其催しの根本趣意がよく理解されたからでありませう。日頃は婦人雜誌等に於てのみ見る婦人令孃が己れを低うして賣子となり道行く人に花を召せと呼び働かれた事はめざましいことであります。必ず賣る其者の爲に無形の純益が多かつた事と思はれます。花の東京は只一日でありました、然し深く刻まれた此日の印象は春三月の花よりもまされる事と思ひます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鮭の總菜

岩村やす子

お手輕の西洋料理三種斗り御紹介申上ます材料は鑵詰鮭(大鑵十八錢の分)にて三通のお惣菜が出來ます。

△**朝食の鮭**　鮭、大鑵なれば三分の一、馬鈴薯五個、パン粉大匙山盛一杯、玉葱(日本ねぎなれば三本)一個、鹽小匙山盛一杯、胡椒適宜、バタ小匙山盛。

先づ馬鈴薯を少しかためにゆで、ホークにさしながら薄く皮をむき、皿に入れ、成る丈け能く潰し、其中へ鹽を入れる。別鉢に鮭を入れ、黒き皮の部分を取去り、よく潰し、バタを入れ、玉葱を入れて能く混せ、パン粉を入れる。其處で前の潰した芋と混せ合せて、最後に胡椒をふりかけ、成る丈け平たく小判形になしフライ鍋にバタを少し引きて、狐色にあげる。

△**コロツケー丼**　鮭三分の一、鮭でなくとも鳥、牛肉、魚(白身)等凡てよし、但ひき肉、玉葱一個小さき分、玉子一個、バタ小匙山盛一杯、鹽小匙二杯、パン粉適宜。

鮭を前の通り能ほごし、バタを入れ、玉葱は卸にておろして入れ、鹽と玉子を混せ合す。パン粉を適宜に皿に入れ、此中へ前の分量のものを人數に割つてころがし乍ら、細長き平たき形に作り、ラードを鍋に少し入れて狐色に揚げる。

合には馬鈴薯三個位薄く切り、布片にて水を吸取らせ、ラード大匙一杯にて狐色に揚げる。熱き中に鹽と胡椒をふりかける。

△**ランチ料理(一名プヂング)**　鮭三分の一、玉葱小一個、バタ小匙一杯、鹽小匙二杯、胡椒少々、パン粉又はメリケン粉、中匙一杯。

牛乳ならば五勺、玉子ならば黄身丈、白身は別に泡立てる。鮭にバタを入れ、玉葱を卸し、鹽、パン粉を入れ、玉子又は牛乳を入れて能くまぜる。小さき茶碗蒸の如き器物に、バタを能ぬり、此中へ前のものを入れて能く煮立てる。湯の中で二重鍋にして十五分間蒸す。廻が黄色になりたる時、泡立し白味を載て又暫く蒸す。之はサンドウヰッチと一緒に食べます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

初日の出前

ひなぎく

華やかなりし春の喜び、秋の夕べの悲しき別離つらく苦しき、はた幸深かりし追憶は身邊をおそひ來て、年逝く夜の强き痛に力なく打伏せし其刹那、除夜の鐘は響き渡りぬ。　年は逝きぬ。　鐘は響けり。
秋を葬り、冬を生み、春を裝ひ夏を勵ます「時劫」の權威にひれふせと、我が世遙けく鐘は響けり。
「時」てふ主宰者が一度擧げしセプターの下に過ぎし日のあらゆる思は消え入りて、今新らしきはたちのをとめとなりて我は起てり。
をとめはたちの花の年、摘まんは幸かはた憂か。

紫雲たなびくこのあけぼの、はだへにつめたき若水汲みて歌かくもいたづらのすさびかは。
ミューズの神の大庭に桂の枝も手折なむ、其女神の胸のかめ、混々として盡ぬ情も心ゆくまで味ひてむ。
花咲く道に花摘み得ずば、石ともならんをとめの心に、冷き運命の嵐を吹かせそ。
然らば輝く春の朝、月光くまなき秋の夕、榮光の野に我立て乙女の誇り、命の喜び、聲の限りに歌ふべし。
今ぞ明け行く初日のあけぼの……
來れ新らしき「時」よ、來れ、我は待てり。

林檎の木の喩

安中花子

田舍家の庭に二本の林檎の木が立つて居りました。
或日其一本はかたへの友に向つて、

「私達は何といふ仕合者でせう。こんな綺麗な世の中に生れて來て、柔しいお日樣からは每日溫い光りを頂くし、ほんとうに勿體ない樣ですね。」と申しました。

「それはさうだが私はせめて自分がもう少し丈が高かつたらどんなにかいゝだらうと思ふ。」と稍不足げな調子で其友は答へました。

「私だつて廣い世間を見度い事は言ふまでもない事ですがこの庭だつて決してつまらない處ではありませんよ。子供達は集つて來て遊びますし、いくら世間を見たつて、やつぱりこゝより綺麗な處は無いと思ひます。子供位美しいものは無いでせう。」

「さういふ小さい心に生れ付いて居たら何だつて有難くないものはないかも知れませんが私はこんな狹い庭では滿足出來ません、どんな事が起らうとも此の後必ず高く成長して世に有りとあらゆる木を見下してやらなければ承知が出來ぬ」。

「成長といふ事は確かに私達の務の一つに違ひありません。私も出來る丈けは心懸けるつもりです。」と第一の木の答はもう柔しく靜かで御座います。

年を經るに從つて第二の木はどん／＼と伸びて行きました。

「私はもうあそこに茂つて居るにれの木の枝を見透すことも出來ます。野原を越えて向ふの村も見えます。あなたも早く上つて來たらいゝでせう。そんな下の方で何時までグツ／＼して居るのです。」と或る初秋の日第一の木を呼んだ友の聲は勝利と誇りでさえて居りました。

「私はとてもこの子供達を殘いては行かれません。每日私の枝の陰で飯事をして居る可愛らしさ、一番強い枝にはブランコがかゝつて居ます。垣根の外の方に出て居る枝の下では羊や牛が遊びます。お日樣の光りがあんまり强過ぎた日にあの羊は私を呼びました。私にはそれを振り捨てゝ行く事は出來なかつたのです。」

柔しい木は嬉しげにかう答へました。

「羊の聲は私にも聞えましたがそんなものにかまつて居る暇はありませんでした。此處には子供も居ません

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

し、實に氣樂です。成長盛りの此の頃の養ひもあなたは定めしみんな果實の方に使つて仕舞た事でせうね。」

「さうです。其の代りには此家のおかみさんは大喜びして居ます。」

「まあ、好い加減の處で他人の世話は思ひ切つて自分の事を考へないと折角の一生を川向ふの村一つ見ずに終つて仕舞ふ樣なことになりますよ。

では御機嫌よう。私は未だ〳〵上へ登つて行きます。鳥の話ではあの小山の向には鏡の樣の湖水が湛うて居るさうです。もう少し伸びたら其の美しい水をも見られるかも知れません。私にとつては生きるといふことは自由な幸な空氣の中で限りなく成長する事です。」

第一の木は我知らずため息をもらしました。が丁度其時ヨタ〳〵と覺束ない足取りで歩いて來た此の家の末の子を見ますと寂しさも忘れて熟し切つた果實を一つ振り落しました。幼子の喜びを見た時束の間に寂寥は消えて仕舞ひました。そして其梢は笑のさゝ波でゆるぎました。やがて冬が來て、初めての雪が林檎の木の枯枝に降り積りました時百姓の夫婦は庭に出て參りました。

「此の木は場所ふさげで何の役にも立たぬ。」と言ひながら百姓は高い方の木を伐り倒しました。

「こつちの方はいつまでも大事にして置きませうね。子供達は何をするにも此の下でなければ遊びません。羊もこゝが大好きですし、それに果實のおいしい事と言つたら村中で一でせうよ。」

林檎の木はひとり心にさゝやきました。

「生きるといふ事、それは自分の目的を成就させるための成長ではない。人に仕へて終る、其處に「生命」の眞の意味があるのだ。」

△女中夜學校のクリスマス　守屋東子姉の發議により本年十月突然開始されましたる女中夜學校はその後益々盛況を呈して約二十名に達し去る廿一日夜クリスマスの祝會を催しました。近藤正子姉の司會にて矢島會長より女中の心得につきての訓話につゞき小崎、杉本両女史の面白き有益なる御話があり生徒等の讃美歌、暗誦等ありて後ちそれ〳〵贈物を配布し樂しくこの夜を過しました。

衆議院の酒保廢止の請願

衆議院議長奥繁三郎閣下

某謹曰す晩近學術の進歩に隨ひ、人間の事物が次第に其效用を變するの趣有之、即ち昔時有益の物品として貴重せられたる者が今日は恐るべき大害物と變化するもの往々少からず、今此等の物品中に就き其變化の最も著しき者を數ふる時は先づ第一に指を酒類に屈せざる可らずと存候。

歐米文明諸國識者の間には夙に飲酒の有害なる事を一般に認識し我が帝國醫科大學教授片山、大澤兩博士の如きも亦多年來學理上より研究を重ね、之が防遏禁止の法を講じ又米國海軍が其艦隊に禁酒令を發し此他露國に於ては六億五千萬圓の歳入を犧牲とし、皇帝陛下より勅諭を以て禁酒令を布き露國は到處一滴の酒類をも飲用せざることに制定せしは今日世界萬國の熟知する所に有之候、今や時局の變遷如何に由ては帝國の安危榮辱に至大の關繫を惹起する虞なきを保せず、仰ぎ願くは衆議院食堂に於ける酒類販賣を廢止せられ我等常に敬意を表する議員諸公の健康を切に祈り候。

曩日大岡議長閣下に於ては大問題の都度食堂に於ける酒類販賣を禁止せられたりと、之れ寔に國家を愛し大事を議するの誠意に出たるものと欣然不啻候、閣下冀くは平時の議會に於ても亦其善例を御實行あらむ事を右杞憂の餘り尊嚴を冒瀆し茲に蕪言を具申仕候。惶懼謹言。

大正三年十二月十五日

基督教婦人矯風會々長　矢島楫

凱旋祝に酒及藝妓の使用廢止願

東京市長男爵阪谷芳郎閣下

青島へ出征軍人凱旋の歡迎會不日東京に於て開かるゝに就きては夫々御計畫有之事と存候得共、某等は

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

左の理由に由り今回は酒井に藝妓を使用せられざらん事を申請するものに御座候。

一、軍人をして軍紀を濫らしむるの虞ある事

二、賤妓の稱ある藝者を歡迎の用に供するは軍人に對し禮を失するものなる事

三、英露兩國軍人にありては如何なる場合にあるも一切飲酒せられざる事

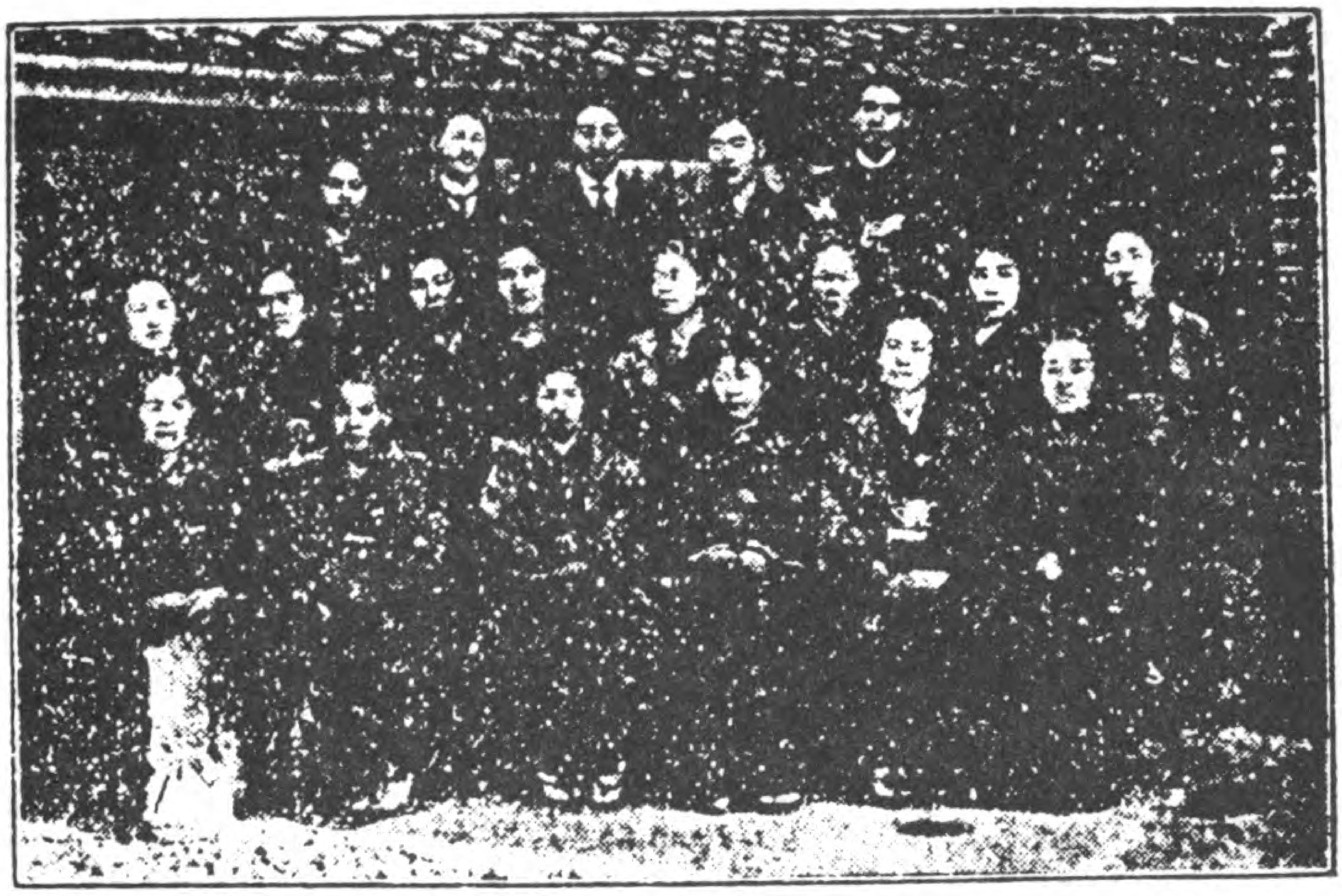
右の事情宜敷御推量嚴肅なる精神的歡迎會御實行被下度此段陳情仕候。敬具。

大正三年十二月十六日

基督教婦人矯風會々長

矢島楫

願す。



九州部會年合

九州部會より各地方長官に請願せし書面の寫

歐洲の風雲は遂に東洋に及ぼし日獨砲火を交ゆるに至りてより我忠勇なる將士は海に陸に其身命を君と國とに捧げ、難攻不落と稱されし青島をも、總攻擊に着手してより僅か數日を出でずして陷落せしむるに至れり、日本國民として此戰勝をいかでか祝せざるを得んや、特に我等婦人としては出でゝ戰ふ將士に熱誠なる感謝を表せんとして猶其足らざるを憾みとするものなり。近く凱旋せらるゝ勇士を我市に於ても滿腔の熱誠を以て歡迎せらるゝ事と信ず、其際希くは左の件を御採用あらん事を請

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一、凱旋兵士の歡迎會に酒類及藝妓を使用せざるの件。かゝる請願を提出するに至れる者は、近世世界の輿論は酒害の恐るべきを說けり、特に今回の大戰に於て我友邦露國は擧國一致禁酒令の勵行につとめ、米國合衆國の海軍、英國の陸海軍ともに禁酒を斷行せりと聞く、未だ我國に此事あらずと雖も、いやしくも國家の干城を迎ふるに恐るべき酒類を用ひ、賤しむべき藝妓を其宴に侍せしむるが如きは實に國家の耻辱と感ずるものなり。

弊會九州部會を本年十一月十七、十八の兩日長崎市に於て開催の時滿場一致を以て右の件を賢明なる閣下に陳逃請願する事に可決せり、希くは閣下之を諒せられん事を。恐惶謹言。

婦人矯風會九州部會

第二回九州部會年會會場記錄

大正三年十一月十七日第二回九州部會を長崎市銀町青年會館に開く。午前九時三十分長崎支部副會長留川順子姉司會の下に祈禱會を開く、初め讚美歌第三十五を歌ひ、司會者の祈禱、十時菊子姉の熱心にして適切なる獎勵あり(如何なる方法よりも企てよりも眞心をこめて祈る事尤も大切であると實驗につきて語られ、我等は自己の爲に家庭の爲に進んで社會の爲に祈らればならぬとの御話あり)時間なき爲め一同主の祈をなし、讚美歌第二百十四を歌ひ閉會。

午前十時より部會組織をなす。部會長高森ます子姉、書記牧田みつ子姉御病氣の故を以て左の通り選擧を行ふ。

△議長選擧　指名推選の議守屋姉の動議小川姉の贊成にて可決、守屋姉、留川姉を推薦あり、一同贊成同姉を議長に推選す。

△書記指名　議長の指名と決し、奥きく子姉を指名さる、守屋姉より二名の書記を適當とするの議いで　更に柏木はつ子姉を指名さる。

△講師紹介　留川姉は本部より御出張の少年部長守屋東子と矢爪人ホーム主任十時菊子の兩女史を一同に紹介せらる。

△代員紹介　引續き鹿兒島代員小川よれ子、若松代員近藤えつ子佐賀代員平山千代子の三姉紹介あり、留川姉時間の勵行につき獎勵ありて部會組織を終る。

△來賓演說　組合敎會牧師中田正一氏の演說あり(同氏は長崎に新任の當時なれば御挨拶旁とて宗敎は婦人の胸に入りて初めて本物となる事、矯風事業の婦人にふさはしき事、更に我等の事業は信仰即ち待ち望むといふ心にて爲さればならぬといふ適切なる御話あり。)終りて議長は昨年請願の件につき、長尾氏よりの返書を朗讀せらる、我等の願は未だ用ゐられざれ共、同氏も大に同情を表せられしは幸なりき。

△議題提出

一、兵士凱旋に對する請願(若松)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（歓迎に酒、藝妓を縦することを縣或は市の長官に請願する事）

二、部會の名義によりて特別の集會を開く爲に辯士を聘して各支部を巡廻して講演を願ふ事（鹿兒島）

三、日本基督教婦人矯風會の日本といふ字に誤解の生じ易き點について（十時姉）

四、次回の部會の開會地について（鹿兒島）

五、軍人家族訪問について（長崎）

六、母の會の方法研究（同上）

七、風俗取締について（同上）

守屋姉より本年前橋に開かれたる大會の模様について報告ありたり。次に部會の名を以て部會長と書記の御病氣を御見舞するの議いで、一同贊成其委員として代員中より一名、長崎支部より一名を選び、平山千代子梅田花子の兩姉に依賴せり。

△**婦人新報**　内容につき守屋姉の說明あり、鍋崎姉は婦人新報購讀のすゝめをなして散會。出席者二十七名の青年會館にて有志の會食をなす。

午後一時半再び社交室にて會を開く、奧きく子姉の祈禱の後、議長は本部及若松支部長原かめ子姉よりの祝電を披露せられ、直に各支部の報告に移る。報告ありし支部は鹿兒島、若松、佐賀、長崎なり。

△**本邦書記手當**　につき守屋姉の說明ありて後、直ちに議事に移る。

△**兵士凱旋に對する請願**　守屋姉の說明あり平山姉の動議にて一同贊成す。右につき實行委員を擧ぐる事を守屋姉より注意ありて各支部代員を以て起草委員となす事に近藤姉の動議、奧姉の贊成、平山姉は本部より御出張の守屋姉外一名に御願する動議あり、守屋姉更に部會開催地の教役者の内より一名を加ふる事を望まれ、多數の贊成ありて可決。近藤姉より當地の會員より御指名をとふとの動議ありて、青年會主事片田江駒次郎氏を御願することとなり御快諾を得たり、他一名は指名推薦となし、梅田姉は留川姉を推選するの動議を起し、平山姉贊成にて一同承諾す。

△**請願委員**　片田江氏、守屋姉、留川姉

△**次回の部會開催地に就て**　小川姉鹿兒島に開くの議提出、近藤姉贊成、多數決にて來年は鹿兒島に開く事に決す。

△**名稱に就て**　十時姉說明、同感の姉妹數名あり、一同は日本基督教婦人矯風會の「日本」を除く事を本部に提出すべきかにつき討議し、滿場一致を以て提出する事に決す。出席者十七名。

午後三時幻燈會を青年會講堂に開く、片田江氏は特に矯風會の爲に本日の幻燈ルーテル傳說明の勞を執らる鍋崎姉の司會にて宗教界の偉人、ルーテーの傳は順を追ふて餘興を加へ、一同大に力を與へられたり、五時散會、集會者二百餘名。

午後七時半歡迎親睦會を社交室に開く、奧きく子姉の司會にて留川姉歡迎の辭を述べられ、平山千代子姉の答辭あり、一同茶菓を喫しつゝ打くつろぎて語る、終りに池田氏の祈禱、九時半散會す、出席十三名。

* * * *

△**祈禱會**　十一月十八日午前九時三十分より祈禱會を開く、代員小川姉の司會にてコリント前十三章の朗讀あり、守屋姉はヨハネ十三ノ三十四及三十五を引きて愛と祈の大切なる事につき奬勵あり、守屋姉の熱心なる祈につゞきて數名の姉妹の祈ありて閉會。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△**選擧**　長崎支部よりは梅田、鵜崎、渡邉、奥の四姉を代員とす。部會長を複選法となす事に決し、候補者として榊原、村田、澁谷の三姉を擧ぐ、村田姉滿點にて當選す。

△**副會長**　を置く事は近藤姉の動議滿場の賛成にて可決したりしも開會地に置くか又は他の地に置くかにつき異議ありて宿題となる。

△**書記の選擧**　先づ候補者として望月、根島、小川の三姉を擧ぐ小川姉當選す。

△**九州部會**　の名を以て講師を聘するの件につき小川及び守屋兩姉の説明あり、此の件につき滿場一致其希望なるも經費の點につき討議あり宿題となる。

第五及び第七の議題は單に、長崎支部に關する件なるを以て議題より除き母の會に移る、十時姉は奥支部に於て實行せらるゝ處を述べられ、又鹿兒島代員小川姉も同様實況を語られ大に益する處ありき。

此時活水女學校教員中田輝代姉、高森姉の代理として講師代員及會員一同に挨拶ありたり。

守屋姉起草文朗讀一同賛成可決す、現に十二時の砲鳴る、一同黙禱祈禱の時間を守りて黙禱し、最後に留川姉の祈禱ありて閉會す。（本日は青年會寄宿舍に於て、同寄宿舍母の手になれる御馳走を一同にて會食す。）

△**母の會開催**　午後二時より社交室に於て母の會を開く、定刻前よりボツ〳〵集り來れる會衆は室に滿ち開會の時は已に廊下にあふれたり、片田江姉司會にて開會の辭を述べ、十時講師は愛と犠牲の貴むべき事と、其を實行するには常識と獨立心の必要なる事を懇切に教へられたり、次に守屋姉は聖書の中の「よき羊飼は其羊を知る、又其羊に知らる」の句を引き、知る事の大切なる事殊に母子の間に知ることの大切なる事を教へられたり、從森姉の祈禱にて閉會す。此日兩女史の時勢に適中せる講話は大に聽衆を動かしたり。出席者七十餘名。

△**演説會**　午後七時半より留川姉司會の下に守屋姉は矯風會の主意について、十時姉は祈の實驗と題して婦人ホーム經營の苦心と感謝につき述べられたり、次に鎭西學院長鵜崎庚午郎氏は如何にせば社會を清め得べきかにつき我等に大なる奨勵を與へられたり、集會者男十五名、女五十名新入會員三名。斯くて此會は本部の御援助と兩講師の御熱誠と皆様の御同情により惠の内に了りし事を感んで感謝す。（會場書記奥きく、（柏木はつ）

同志社青年部

十一月十六日守屋少年部長の御來校を期として例會を開き法律課につきて守屋姉の御話あり學生としての法律を守るべき事、人の權利を侵さぬ事、自分の權利を知るべき事等其他この方面に就きての奨勵と知識とを與へらる。

十一月廿二日午後富森會長と心あへる友十五名若王寺襄新島先生の墓前に於て小集會を開く松田會長司會にて學校の歴史を考へ、校内の矯風會員各自に靈感を與へ給はん事を祈る數名の熱心なる祈禱の後、小雨さくる大樹の下に讃美歌二四一を唱ひ南禪寺の佳景を探りて歸舍す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

各地通信

本部

十二月七日(月)午後二時より常置員會を開く、矢島會頭の司會にて書記前回の記錄を朗讀し、左の件を議決す

△今回の九州部會に吳支部長十時姉の出席は頗る有益なりしを認むると同時に、今後は他の支部長をも促がして其附近の支部相互に應援をなさしむる爲め本部は會計の許す範圍に於て幾分の援助を與ふる事。

△敎育課の働及文書課の働として屠蘇廢止に關する書類及酒害論を市内學校長に送呈せらるゝ事を實行する樣課長に交渉する事。

△矯風會の創立當時に盡力せられたる某氏の境遇に同情し、有志者 り集めし金五圓を贈る事。

△東京驛の開通と凱旋式 當日花の日會の爲には事務所を休憩所として使用さるゝ事を快諾する事、及び有志者は之に援助を與ふる事。木村龜井姉の祈を以て會を閉づ。松宮しん子姉より手製の菓子を御披露ありたり。

麹町

十二月四日午後二時より事務所にて例會を開く。矢島會頭の司會にて會計及書記並に維持會計の報告は異議なく承諾せられ花の課長岸田つる子姉は病氣を押して某姉を訪問したる事につきて語られ、尚ほ一層本課を奬勵したしと述べらる。岩村安子姉は堀越姉と交代に端書を以て久しく出席なき會員に通信さるゝ由述べらる、この日は花の課を記念するため土居氏御宅へ出席會員の名を記したる端書を出し、朝鮮奥山有志子姉の消息を尋ぬる事と京都にて御病氣中の守屋姉に御見舞状を送る事を決す。次回は大正四年一月八日とし會員一同に例會を通知する事及有志の方に御講演を願ふ事を決せり。

芝

十二月十日午後二時より事務所にて例會を開く、杉本鉞子姉の司會にて書記及會計の報告は異議なく承諾となり、ウキルソン女史は「戰亂とクリスマス」につきてクリスマスの眞意を解釋すべく奬勵を與へられたり、某姉妹は戰亂につきて夫より詰問さるゝ事につき質問ありたり、斯くて矢島楫子姉よりウキルソン女史に挨拶ありて閉會せり。

小石川

十一月廿七日(金)午後二時より福音敎會に於て例會を開く、藤井孝子姉司會の下に書記及び會計の報告は異議なく承諾せられ田山せい子姉は本會事業の一なる大久保の慈愛館を訪問せられし所感を述べられ、次で司會者は落穂拾ひの趣意につき有志の同情を求めて後、矯風會の働きとして課の説明をなしたり、來會者三十名閉會を告げしは午後四時前なりき。(書記萬木しづ子)

神戸

十一月二十六日臨時有志の會合あり當日は九州部會へ出席され本部幷に九州部會活動の狀況をも伺ひ懇談せんものと、九時より家庭塾に於て有志の集りを開き、守屋姉より二三の奬勵的御話あり注意をも與へられ、十一時過ぎ惜しき會を閉ぢぬ、出席者は咄嗟の事とて報知洩れ十七名。

十二月一日午前九時半より家庭塾に於て、委員會を開きたり、來る一年間婦人聯合集會表作製の件、手工の件、家庭塾クリスマスの件、一月外部に向つて活動發展の件等を協議し、十一時閉會せり。

△家庭塾へ備付布團の爲とて中尾夫人より綿二貫目、吉井姉より美事なる切地を御寄附ありたり。

△松山母の課長は此の夏以來課の發展を圖り各敎會婦人會に出席され、手近に改良すべき小兒猿股の裁ち方、縫ひ方等を懇ろに敎授され、實際的家庭にて日々に矯風すべき點に付き熱心に勸められつゝあり成功を祈る。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△城傳道課長は明石、攝津紡績會社に女子の傳道應援に務め、十二月八日出張の際の如き二百餘名の工女静粛に教話を聽き二十八名の求道者を得、近々五六名の受洗者を見るべし、我等は何處に行きても、傳道、矯風、救濟の事業の爲め奮戰すべく道開かれつゝあり讃むべきかな主の御名御榮光世々主にあれ。(城のぶ子)

弘前

九月十九日午後一時半より元寺町會堂に於て例會を開く。會頭高谷とく子姉司會の下に書記の報告ありて後、藤井牧師の御話ありたり、氏は一家にあつて内助の如何計り必要なるかを說かれ、妻にして夫の助とならぬ婦人はせめて夫の妨とならぬ様務めねばならぬこと、又一家を持ちても一切夫にのみ依頼せず自分で出來る丈は自立する精神を持たねばならぬ事、又妻としては夫の心をよく了解し、充分の同情を以て慰安、奨勵を與へねばならぬ事、彼人類學博士鳥井きん子姉の事、其外にも實例を引かれ、凡て一國の强弱は個人々の有様に依て分るものにて、一家も亦其如くである、兎角我國の習慣は自分の手足を動かさずして人を使ふ事を上品のやうに心得て居るなれど、昔の時代は兎に角日進月歩の今日にありては男女に拘はらず一々人手を俟たず自分の出來るだけ暇の許す限り自ら働くべき筈で、之は決して野卑の働でない却て之に依て大に學ぶべき所があると尤も有益なる御話ありし後會頭の感話あり讃美を以て閉會す。

十月二十七日午後一時半より元寺町會堂に於て婦人聯合會を開く。會頭高谷とく子姉司會の下に十數年前本會の書記として盡力せられ、目下は本部の傳道課長なる古田とみ子姉來弘せられしを幸ひ、一場の御話を請ひたり、其大要は「幸福なる生涯の秘訣」と云ふ事にて世の人は幸福なる生涯と云ふ事を如何に解決するや、或る人は財産や位置を得るを幸福とし、或る人は博學多才なるを幸福とし、又薄弱なる人は健康なる身體となるを幸福とするならんも是等は何れも眞に幸福を得たるものと謂はれざるべく、財寶や地位は一夜にして無に期する事あるべし又學問は學べば學ぶ程是に伴ふ憂患が增すべく健康も亦其の如く壯健なりと思ひし身體も全く頼みにならぬ事あり、されば眞の幸福とは何か利己主義を捨てゝ他を顧み、他を益するといふ我儘を離れた心、即ち人を救ひ人を愛すると云ふ心には何時も不滿はなき筈なりとの種々の實例を引き、宜しく我々は人類の救ひの爲に天の御位を捨てゝ世に降り人の中の尤も賤しき下僕の姿を取りて身は十字架の死をさへ甘んじて裏け給ひしキリストの御心に傚ひたきものなりと熱誠を以て述べられ、續いて會頭の感話あり、一同大に奨勵せらる、古川姉の祈禱を以て閉會後、法律課長として高杉つる子姉を願ふ事とせり、來會者三十三名。(書記高杉つる子)

水戸

十二月十四日午後二時よりクリスチャン教會に於て水戸市婦人矯風會を開く會長司會の下に禮拜を以て始め、書記、會計及各課の報告を以て事務會を終る、次に役員改選をなし從前の通りに決す、新たに通信書記を置く事となし鈴木すゞ子姉當選せり。世の課、教育課、法律課、衛生遺傳課、花の課風俗課の各課長を改選す。新入會員四名を歡迎し、議事として當年も有志者より家毎に飾られある門松を貰ひ、水戸市孤兒院に寄附する事に決す。當日早川牧師は今回水戸市に開かれたる協同傳道の感想を述べられ、東京より來訪されたるミス、モーアは婦人の矯風に於ける働きにつきて述べられたり、斯くて一同感謝の内に閉會を告ぐ、出席者二十二名。(書記鈴木すゞ子)

〇婦人新報領收は次號に讓る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

編輯室より

エー、エム、

△本年最後の編輯日は丁度目出たい十八日の凱旋日でありました、東京の町は花の日の美に紅にいろどられ行きかふ人の胸間は皆菊花に香ふて居りました。定められし辻には若き婦人が花籠を捧げて「此花をおつけ下さいまし」と呼でをられます。此收入が遺族救助の資にあてらるゝときいては誰もいなむことは出來ません。

△此一年間私共は少なからぬ努力と勤勉とを以て雜誌の生立に心をこめたつもりで御座います、一つ年重ねます來年に於ては一層つとめはげむ決心を持て居ります事故又何卒愛讀者諸姉の同情ある御批評を願ます。

△九州部會に呉の十時姉と御一緒に出席いたしました支部長として十時姉が御多忙の中を御出席下さつた事を感謝いたします、と同時に同姉が大なる 働を九州部會に殘された事をうれしく存じます。

△部會の歸り神戸大阪京都へお寄りいたしました。種種うれしい事も多かつた中に婦人新報が今度の行で百部増したといふ事が一番よろこびであります、どうしても會員は新報の愛讀者でなければ樣々な働きを知りまた興味を持つことは出來ません。

△福岡市で突然の集會ながら六七十名の婦人がメソヂスト教會に集まられ席上私に話をさせて下さつた事は感謝の外ありませんでした。同市に支部の出來る事を衷心から祈り願ふてをります。

△別項の通り衆議院に酒保廢止の請願及東京市長に凱旋祝に酒類及藝妓を使用されぬ樣にとの二種の請願を出しました、猶委しくは本項で御覽下さいませ。

△女中夜學もます〳〵盛になりまして只今は十九名在籍年長者は四十歳で「いろは」から熱心に學んで居られます、二十一日の夜クリスマスの祝會を開きます、其夜の歌を今熱心に稽古中です。

△ストーブかん〳〵おこしてお互に赤い顏して本年最後の編輯〆切をいたしました。

めでたく御越年新らしき年お迎へ遊ばせと編輯室一同より。御機嫌よう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

祝クリスマス
祝新年

大正四年
一月元旦

編輯員一同

本年も御同様主義の爲に
つくし度新年の御祝儀に
かへて申上候

婦人矯風會本部役員

大正四年
一月一日

一同

おめでたうございます。
ほんねんもまたごあい
どくくださいませ

大正四年
一月一日

少年新報編輯員

トホク カラ ミナサマ
ニ、ゴネンシ ヲ マウシ
アゲマス

ルース、エフ、デビス

千九百十五年
一月元旦

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

even been mentioned as a topic for discussion, and during the first few years the petition was only scoffed at. It, however, persistently appeared year after year, until it bagan to attract attention. It was honestly opposed by some, good-naturedly laughed at by others and constantly received a good share of sneers, but it aroused discussion among the people, and from this there gradually spread an influence which played no small part in changing tbe general opinion regarding woman.

The petition has had a long and hard journey—one that is not yet ended—but through the twenty-five years of jeers and mockery, laughter and sneers, indifference and opposition, it has slowly and steadily gained in prominence. Today the word "ippu-ippu", which means "one-man one-woman", is known to every thinking mind in the Empire, and many are thinking seriously.

There is no fanaticism in Madam Yajima's mind. Her idea is wholesome and sweet. She believes that an ideal home is the foundation of a strong nation, and without true marriage, it is not possible for an ideal home to exist. As civilization has advanced, step by step, from barbarism, polygamy has decreased, and clanlife has merged into homes. She believes that faithfulness between husband and wife, constitutes the only true marriage, and the nation that first reaches this ideal, is the nation that will be first in strength and greatness.

Petition for strict control over Japanese prostitutes abroad.

This is one of the petitions sent to the Diet by Madam Yajima. It asks that the laws be more strictly carried out. Madam Yajima says that as long as Japan has the name of sending more prostitutes abroad than any other country, the rest of the world will look upon Japan as a nation of sensualists, who treat all their women as toys or slaves.

This is unjust to our men, to our women and to our nation, but, until we reach the standard of other nations who consider such traffic shameful, no Japanese woman can hold a position of dignity in the eyes of foreigners. Both at home and abroad, a woman whose life is at all public, is liable to be looked upon with suspicion. Because of past education, the masses of Japanese men look with indiference upon this question, and in the traffic much unlawful deceit is practiced, which, although known, is not denounced by public opinion.

The petition demands the justice of strict law for the dealers who are clever and secret in unlawfully carrying on this shameful. business.

This year these pepitions had each over 2000 signitures of citizens throughout the land, each name representing a person over twenty years of age.

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

petition is the outcome of our loyalty and our anxious spirit.

With deep respect,

Kajiko Yajima, President of the Japan W. C. T. U.

11th month, 3rd year of Taisho.

Translation of Madan Yajima's Petition to the Mayor of Tokyo.

To Baron Sakatani, Mayor of Tokyo:

With due respect, the W.C.T.U of Japan, petition that the customary employment of geisha and the presentation of sake to a victorious army returning from the battlefield, be omitted in the festivities celebrating the return of the triumphant army from Tsingtau.

In the near future, all Tokyo is to have the glorious honor of welcoming our brave soldiers. All the municipal force has been busy with preparations, and we, the members of the W. C. T. U., faithfully and earnestly desire that this celebration should lack not one atom of the joyous and appreciative spirit suitable for such an occasion. We believe that this spirit can be most truly expressed bv following a plan of dignity, therefore we appeal to your excellency to abolish totally, on this occasion, the employment of geisha and the use of sake.

For these reasons:

1st, Military discipline may be relaxed.

2nd, It is not in accord with the highest mode of etiquette that women of low occupation be the ones selected to welcome an army of honored heroes.

3rd, England and Russia, our allied nations, have detided not to serve intoxicating beverages on similar occasions.

With deep respect we petition.

Kajiko Yajima, President of the Japan W.C.T.U.

12th month, 3rd year of Taisho.

The "One-man One-woman Bill."

Madam Yajima's monogomy petition, so well known as the "One-man one-woman bill," has again appeared in Parliament this session. This is the twenty-fifth time it has been presented. How many more times it may appear, no one can prophesy, but it is the expection of its adherents to bring it forward each year until the bill has passed both Houses and become a law. Madam Yajima believes this would give Japan an acknowledged place as first among all civilized nations. The history of this petition is interesting. Just a quarter of a century ago, in the 23rd year of Meiji, the Japanese parliament was opened to the nation. Madam Yajima was already prepared with her petition, and it was among the first to be placed before the new Parliament. At that time the position of woman in Japan was scarcely recognised. Such a question as "one-man one-woman" had never

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

WOMAN'S HERALD.

(*Fujin shimpo*)

Translation of Madam Yajima's Petition to the Diet, presented through the Hon. Shigesaburo Oku, President of the House of Representatives.

To His Excellency, Shigesaburo Oku, President of the House of Representatives;

With profound respect, your petitioner most humbly seeks an audience. The twentieth century has brought much blessing from science. By this grace, the world is constantly receiving knowledge from the results of investigation, and in many cases, that which for centuries has been believed beneficial, is now proved to be injurious. Modern science has ascertained that alcohol is poison. Today great minds, both scientists and statesmen, agree that alcoholic drinks are harmful. This fact is acknowledged throughout the civilized nations of Europe and America. In our Country, Dr. Osawa and Dr. Katayama, of the Imperial University, with scientific knowledge and deep conviction, are earnestly endeavoring to prevent the general use of this beverage.

During this year, conspicuously active steps have been taken by different influential nations of the world, against the use of alcohol. The United States issued a law of total abstinence to the Navy. In Russia, the Emperor ordered the sacrifice of Yen 650,000,000, in order to prevent the use, and also the manufacture of this fatal drink.

Our nation now occupies a prominent seat. The searching eye of the world rests on us and our actions. Therefore;—in the name of the Japan W. C. T. U., the abolition of the saloon within the House of Representatives, is most earnestly petitioned. This plea is the outcome of our fervent prayer for the sound health of our Nation's Representatives, for whom we have the utmost respect.

The other day, when, in the House of Representatives, a grave bill was being discussed, your Excellency ordered the closing of the saloon within the House during the discussion. By this act, your Excellency showed a thoughtful regard for the grave and dignified purpose of the Assembly. From this fact, we believe your Excellency has sympathy with our work, and thus we venture to come to you with this petition to bar the saloon from the sacred place where is enacted the laws which guide the march of the Nation.

Finally, we appeal to your magna nimity to pardon our presumptous boldness. We trust the rudeness may be overlooked, because the

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察、月、水、木、金午前、入院、診後應需
林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤

東洋内科醫院

電話本局｛八八八番（病院用）｛八九八番（私宅用）
東京神田區駿河臺鈴木町二御茶水橋角

院長 醫學士 高田畊安

相州高座郡茅ケ崎町海濱從停車場半里

南湖院

電話ちがさき二番

河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤
院長診察、土曜日午後、入院、診後應需

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（明治四十五年六月廿五日 第三種郵便物認可）婦人新報第二百二十號（大正三年十二月廿八日發行 毎月一回發行）

現代の婦人は必ず

其入浴と洗面とに

化粧用

ライオン石鹼を

用ゐらる。

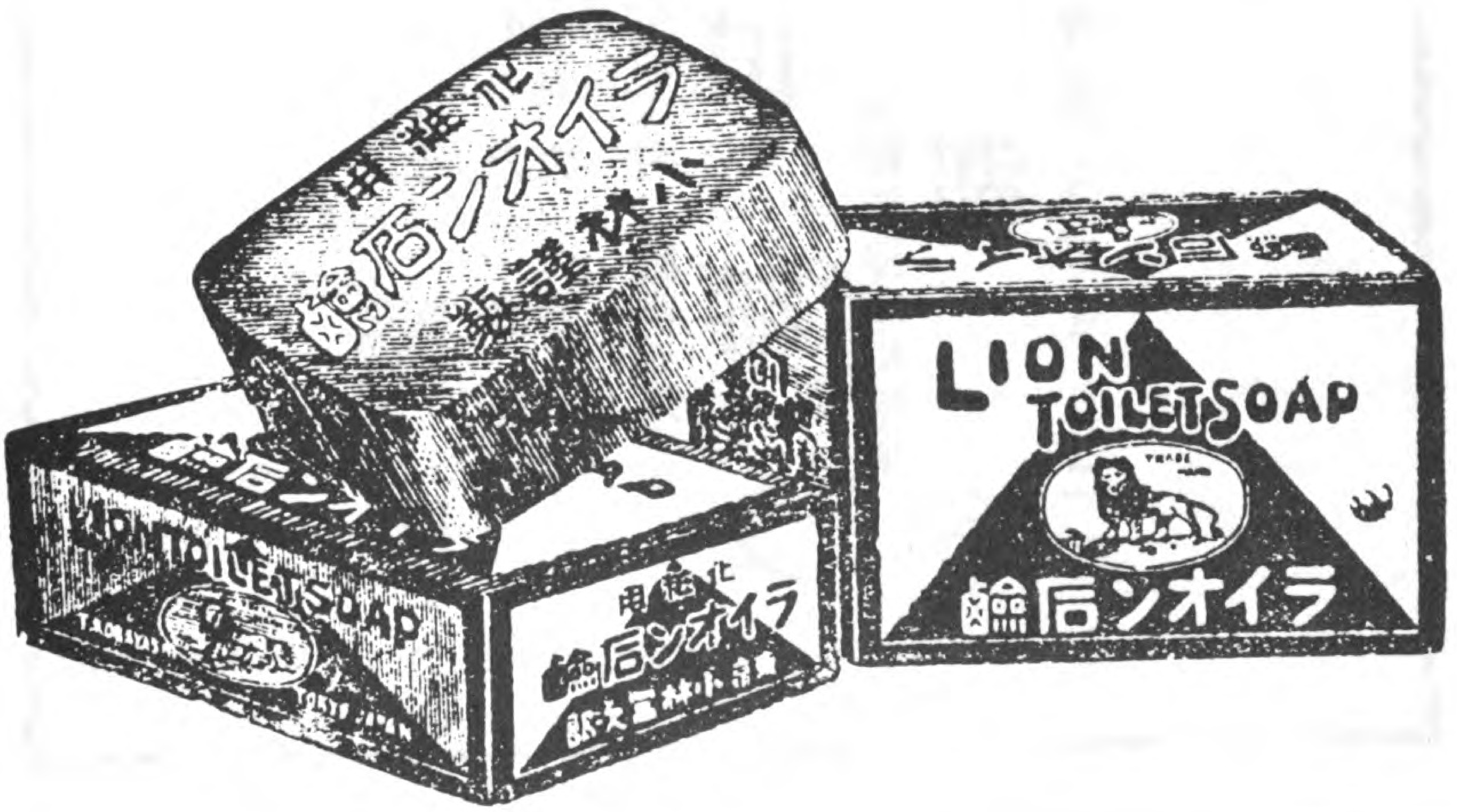
定價 一個二十錢

そは最も美容衞生の目的に愜ひ、柔美なる皮膚、敏鋭なる神經を、最も感じ快く守護すればなり。

東京市神田區柳原川岸二十二號地

ライオン齒磨本舗 小林富次郎

支舖 大阪市東區博勞町二丁目 名古屋傳馬町四丁目



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA